発行者　友愛育成園
電　話　096-325-5736
ﾌｧｯｸｽ　096-325-5755
ＵＲＬ　http//www.ikuseien.com
写真は許可を得て掲載しています。
転用は、ご遠慮下さい。

ゆうあい

令和2年5月号通巻199号
令和2年5月29日発行

世界的な邪魔が入り
1ページにやむなく減量

4.5月の出来事

4月11日　作業日
25日　作業日
5月 9日　作業日
23日　作業日

生活介護の様子

体力づくり、ＤＭ封入、フルーツキャップ折り返し、季節の工作を行いました。

就労継続支援Ｂ型の様子

山内本店さん、釜屋さん、チューインさん、お菓子の香梅さん、ｲﾝﾀｰﾅｼｮﾅﾙｹﾐｶﾙさん、富士甚醤油さんより作業を受注しました。

6.7月の予定

6月13日　作業日
27日　作業日
7月11日　作業日
23日　作業日
※海の日ですが25日の土曜日を代休として開所します。

人間vs新型コロナvs熱中症

杉本くんが主張する…

新型コロナウイルス感染症により、今年の夏はマスク着用というこれまで経験をした事がない夏を迎える事になりそうです。最近のニュースで「マスク熱中症」という言葉が聞かれるようになりましたが、初夏を迎え気温上昇による仕事中の息苦しさを感じる事も度々あり、「マスク熱中症」にならない為にも、今の内から対策を考えていく必要があると思います。

人は暑くなると汗をかき、その汗が蒸発したり、皮膚の温度が上昇したりすることで熱を外に放出させて体温を調節しています。これがうまく出来なくなると体内に熱がたまった状態、「熱中症」となります。マスクを着用すると、顔のほぼ半分を覆う為、体温を外に逃がす「放熱」の妨げになります。また、熱がこもりやすく湿気も多い為、熱中症になる可能性が高まってしまいます。

専門家からは、マスク着用自体が体温の上昇や熱中症を直接的に招くわけではないとの事。しかし、マスク着用中は喉の渇きに気付きにくくなり、喉の渇きを感じにくくなるのはマスク内の湿度が上がるため。特に高齢者はもともと喉の渇きを自覚しづらく知らないうちに脱水が進んで熱中症になりかねないとの事。新型コロナウイルス感染症の予防でマスクを外してはいけないとの思いから、水分補給も避けがちになるとの事。マスク熱中症にならないための対策として、半袖や袖をまくりやすいシャツ、ノーネクタイ、開襟シャツなどで放熱やハッカ油のスプレータイプをマスクの外側へ噴霧し、ミント独特の清涼感が得られることと、冷却スプレーに冷感マスク。通気性のよい加工や特殊な繊維を使うことで爽やかさを実現。ポータブル扇風機や袖口や裾を絞っていない、ゆったりした涼しい服装、エアコンや扇風機の活用、意識的に水分をこまめに摂取し、塩分補給も忘れない事も。日傘も熱中症予防に効果的であり、男性日傘というのもありだと思います。

マスク熱中症にならないで今年の夏を乗り切る情報を調べると沢山ありますので、自分に出来る所から工夫をして、暑い夏を乗り越えて行きましょう。

職員一行月記
「私事で恐縮です」

- マスク着用が苦しい季節になってきました。【K】
- 変革の時です、何かな？【吾】
- 休みが退屈でした(^_^;)【かねふく】
- ついてる！【私】
- フットワークは軽く！【レバー】
- たまには「今」を大事に。【にゃんこ】

坂本がざれごとをつれづれと「戯れ言徒然」

第一五九言

どこまで新しく

皆さん、新型コロナ対策にはご協力いただきありがとうございます。もう少しだと思いますので、がんばっていきたいと思います。

さて、「新しい生活様式」なるものが世間一般に浸透しつつありますが、高度成長期、バブル期を多少なりとも経験した私としては、いささか大げさな呼び方かな？と。わざと意識づけのためだとは思いますが、７０～８０年代にＣＭで見ていた電化製品が次々と我が家に鎮座していったときは、これぞまさに「新しい生活様式」。子供心にもワクワクしたものがありました。

特に中高学生になると、友人・その他交友関係が広がり、電話というツールは欠かせないものだった。いつ・どこ集合など口頭で伝える。しかし、困ったことに電話の存在は、大切なことを短期間で伝えるという絶対的にかかってきた電話は大人がとる→かけた方は名を名乗る→交友関係を親が確認→大体どこに行っているか把握。といった構図が成り立ち、説明の必要もなく親が察する。

しかし今はどうでしょう。メール、ＬＩＮＥで簡単にやり取りできることの多いこと。かつて、緊張しながらかけていた電話も、直接本人につながります。親の前では話しにくかったことも、聞こえない、見えないでやり取りできます。うらやましい。いや、親となってみては心配事が増えるばかり。

私にとっては、充分新しい生活様式なのですが、これ以上ついていけるかな？